

# 目次

はじめに……………一

## 第一章 東京美術学校創立前史……………三

第一節 明治前半期の美術および美術教育……………五

明治維新後の伝統美術衰微 明治初期の洋風

美術と図画教育 明治初期の美術行政 内国

勸業博覧会的美術 龍池会 フェノロサと

『美術真説』 内国絵画共進会 東洋絵画会

鑑画会 狩野芳崖

第二節 美術学校設立運動の背景……………三

美術局設立運動 東京美術学校回顧談 岡倉

覚三 明治十七年の古社寺調査

第三節 図画調査会……………五

図画調査会の概要 図画調査報告

## 第二章 東京美術学校設置より開校に至るまで……………一〇

第一節 東京美術学校設置……………一〇三

第二節 学校方針の決定に至るまで……………一〇四

第三節 制度・組織の編成……………一〇七

第四節 図画取調掛……………六

図画取調掛設置 図画取調掛と美術学校設立

準備 第二回鑑画会大会 明治十九年の古社

寺調査 加納鉄哉・竹内久一

第五節 欧米美術視察……………七

フェノロサ・岡倉覚三欧米派遣 岡倉覚三の

「欧州視察日誌」 鑑画会における帰国報告

講演 視察中の購入図書・写真 フェノロサ・

岡倉不在中の図画取調掛 妙義山地取 悲母

観音 前田家藏能衣裳模写および行幸、行啓

第四節 古社寺宝物調査への参加……………一〇

商議委員規程 職員の人選 明治二十一年末

現員表 芳崖の死去

古社寺宝物調査への参加……………一〇

調査における東京美術学校職員 臨時全国宝  
物取調局

第五節 規則の制定……………二二

東京美術学校規則制定

第六節 用地および校舎……………二九

### 第三章 草創期 明治二十二年～同二十六年……………三三

第一節 明治二十二年……………三三

東京美術学校第一年報

解説 制服、制帽 學術研究 第二回生徒募

集 職員等 臨時試験

関連事項 ①草創期の逸話〔板谷波山の回顧

談〕②帝国博物館設置③『国華』

創刊

第二節 明治二十三年……………三五

東京美術学校第二年報

解説 規則改正 学科課程 卒業制作 入学

在学及退学規程 研究科規程 フェノ

ロサ解雇 専修科授業開始 職員辞令

関係事項補遺 教諭を教授と改称 臨

時試験

関連事項 ①「説明 東京美術学校」②楠公

東京教育博物館 上野選定

第七節 生徒募集、開校……………三四

募集方法 第一回入学者選抜 学科試験答案

実技試験 鉛筆画と毛筆画 地方特選 第

一回入学生一覧 開校

銅像・依頼製作事業の開始③帝博  
の模写、模刻事業と本校④職員定  
員の制定⑤「生徒心得」の改正⑥  
明治二十三、四年当時の本校職員  
及び生徒⑦帝室技芸員⑧第三回内  
国勸業博覧会⑨墨田川盃流しの宴

第三節 明治二十四年……………三九

東京美術学校第三年報

解説 校長代理 故小川松民 後藤貞行出張、

依頼製作 遠足 校友会発足 松方伯

爵銅像

関連事項 ①官制②兩大臣の楠公像視察③日

本青年絵画協会の発足④美術学校

子備校

第四節 明治二十五年……………四五

東京美術学校第四年報

解説 規則改正 鑄金科設置 閣龍世界博覽

会 本邦家屋 校友会建物 西郷隆盛

銅像 日蓮上人銅像雛形

関連事項 ①二十五年経費と校長譴責②バ

第五節 明治二十六年 ..... 三六

パリヤ万国美術展覧会

東京美術学校第五年報

解説 楠公銅像木型 第一回卒業式 岡倉校

長の清国出張 岡崎雪声の渡米

第四章 発展期 明治二十七年〜同三十一年 ..... 三五

第一節 明治二十七年 ..... 三七

東京美術学校第六年報

解説 生徒成績物展覧会・校友会臨時大会

西洋室内裝飾木組及諸張付彩画 山名

貫義の起用

関連事項 ①「二十八年本校経費之儀ニ付

上申」②分期教室制③「美術教育

施設ニ付意見」と岡倉寛三の本校

拡張計画④京都高等美術学校およ

び美術院奈良分院設置計画⑤明治

二十七年十月三日、故狩野芳崖、故

小川松民両先生追善会挙行⑥『錦

巷雜綴』創刊⑦明治二十七年補遺

第三節 明治二十九年 ..... 三九

東京美術学校第八年報

解説 規則改正 凶案科設置 西洋画科設置

科外講義・近世美術展覧会 承和楽

置物 修学旅行

関連事項 ①彫金科の意見書②日本絵画協会

創立と本校日本画教授陣の刷新強

化③卒業生会結成

第二節 明治二十八年 ..... 三六

東京美術学校第七年報

解説 鍛金科設置 第四回内国勸業博覧会へ

第四節 明治三十年 ..... 三〇

東京美術学校第九年報

解説 中尊寺金色堂内裝飾髹漆修繕 善那銅

像 和田英作の依頼免官 長沼守敬の

解嘱 福地復一の依頼免官 岡田三郎

助の留学 大村西崖辞職 修学旅行

関連事項 ①進級、転科に関する内規②「美

術教育施設ニ付意見」③制服改正

④日本絵画協会第二回、第三回共

進会⑤彫刻教育改革運動および青

年彫塑会結成

第五節 明治三十一年 ..... 三六

### 第五章 授業内容

第一節 基礎教育——特にフェノロサ在職中の教育

について ..... 四三

第二節 専門教育（実習授業） ..... 四三

絵画科 彫刻科 彫金科 鍍金科 鍛金科

漆工科 図案科

第三節 学科授業 ..... 四六

フェノロサの「美学及び美術史」講義 岡倉

寛三の「美学及び美術史」講義 福地復一の

東洋美術史講義 森鷗外、後藤貞行の「美術解

剖」講義 森鷗外の「美学及び美術史」講義

黒川真頼の「歴史」講義 今泉雄作の「歴

史及び古物学」講義 川崎千虎の「考古学」

明治三十一年東京美術学校年報

解説 概況 制服改正 学術実地指導 美術

学校騒動と生徒

関連事項 ①学校参観記②加納夏雄死去③依

嘱製作に関する嘆願書草稿④美術

学校騒動⑤美術学校騒動関係資料

⑥精藝会 東京美術学校敷地建物

略図⑦日本絵画協会第四回、第五

回共進会

三九

附 表 ..... 五〇三

- ①経費②書籍、器械等③建物面積④東京美術学校職員定員、俸給に関する規定⑤入学・退学・卒業者等⑥在職者一覧⑦職員任免一覧

索引